

第25回夏期研究集会

【テーマ】

「すべての子どもたちが毎日楽しく学校に通えるようにしよう」

【開催日】 2019年8月1日(木)

【日程】

9:00 9:30 10:00 12:00 13:30 14:00 16:30

受 付	開 会 行 事	全 体 講 演	昼 食	受 付	実 践 講 座 I ~ V
--------	------------------	------------------	--------	--------	-------------------------------

【参加費】 2000円

【内容・場所】

全 体 講 演	福岡市民会館 大ホール
「何を得るかではなく、何を残すか」 田口 一成（株式会社ボーダレス・ジャパン代表取締役社長）	
<p>天神の地下街にある、おしゃれな革小物のお店「ビジネスレザーファクトリー」。このお店ができた経緯には、社会問題を解決したいという起業家の熱い思いが込められています。世界の貧困や労働問題・人種差別などの様々な社会問題を解決するソーシャルビジネスを生み出すために設立されたのが株式会社ボーダレス・ジャパンです。</p> <p>全体講演では25歳でこの会社を設立された田口一成さんに、こういった会社をつくろうと思っただけのきっかけやそこに込められてる思い、大切にしていること、願いについてお話しいただきます。</p> <p>今回のお話は、教室ですぐに使える手だての話ではありません。しかし、社会問題を解決するために行動している田口さんのお話を聞いて、教師として、一人の大人として「今、自分になにができるか。自分がどうありたいか、どうあるべきか」を考えていきましょう。</p>	

実 践 講 座 I	都久志会館 大ホール
「これからの部落問題」 角岡 伸彦（フリーライター）	
<p>講座Iではフリーライターの角岡伸彦さんに部落問題についての現状と課題についてお話しいただきます。なぜ部落差別は残ったのか？部落差別をなくす過程で部落を残すのか、それともなくすのか？差別実態や反差別運動、同和行政、同和教育の歴史をたどりながらどのように私たちが部落問題の解決に向けて取り組んでいくべきか一緒に考えていきましょう。</p>	
実 践 講 座 II	福岡市民会館 大ホール
「学力差を超えたアクティブラーニング授業」 ～「くまモン」「粉ミルク」「地域再生」などを通じて～ 河原 和之（立命館大学非常勤講師）	
<p>講座IIでは中学校の社会科の教師だった河原先生が「授業中の生徒の生き生きした顔を見たい」「『今日も面白かったな！』という生徒の声を聞きたい」という思いから授業にこだわり、教材づくりにこだわり、真正面から取り組まれてこられた事を話していただきます。すべての生徒が意欲的に学べる教材と、「うーん！なるほど」と自らが気づく「わかる」授業をつくり、生徒との信頼関係を培ってこられた話を聞いて、どの子もわかる学力差のない授業をつくるヒントにしてください。</p>	
実 践 講 座 III	エルガーラ 中ホール
「一枚文集でつながる子どもたち」(仮) 師井佐知子（みえ人権教育・啓発研究会）	
<p>講座IIIでは、三重県の小学校で子ども達を「知る」「つなぐ」ことにこだわり、「一枚文集」を実践してこられた、師井佐知子先生にお話しいただきます。「一枚文集とは何か」「子どもたちが生活を綴り、学級で共有することの意義は何か」を学び、これからの学級集団づくりに生かしてみませんか。</p>	
実 践 講 座 IV	都久志会館 4階会議室
「『部落差別を無くしたい』～保護者の立場から～」 部落解放同盟福岡市協議会 保護者	
<p>講座IVでは、被差別部落の保護者の方に、子どもに対する思い、葛藤、学校に期待することや願いを語っていただきます。部落差別と向き合いながら子育てをする被差別部落の保護者の思いや願いを知った上で、私たちが部落問題学習を今後どのように進めていくのか深く考えるきっかけにしましょう。</p>	
実 践 講 座 V	天神クリスタルビル 大ホール
「西成に育ったら、それは罪ですか!？」～西成高校における「反貧困」の学びと支援～ 山田勝治（大阪府立西成高等学校校長）	
<p>講座Vでは大阪府立西成高等学校の校長である山田勝治さんに、バラエティ番組の中でおきた西成高校への差別的な発言への対応も含め、日常の差別や偏見の目にさらされてきた西成高校の取組についてお話しいただきます。この講座を通し、目の前の子どもたちの貧困や差別・偏見の解決に向けての取組について学び、これからの実践につなげていただきたいです。</p>	